

平成18年5月23日 記者会見 会頭発言要旨

時事の話題

企業の3月期決算について

今年の上場企業の3月期決算は、デジタル家電・自動車関連企業を中心に多くの企業が大幅な増収増益となった。京都企業も一般機械や精密機械などの好調を受け、サービス業の景況回復にも波及している。業種や企業規模によるバラツキはあるものの、着実に景気回復が続いている。

円高懸念について

好調な京都経済を牽引している大手地元企業は、電子部品など輸出依存度が高い。円高が続くと、企業収益が圧迫するので、注意深く動向を見守っていく必要があると考えている

京都商工会議所の動き

「京都サミット」誘致について

2008年のG8サミットは、各国首脳やマスコミが多く集まり、京都の魅力を世界に発信できる絶好の機会である。首脳会議が京都で開催されるよう京都府・京都市・本所などが一丸となって関西にサミットを誘致していきたい。また、京都府民・市民にも誘致活動に興味を持ってもらえるようにさまざまな啓発活動を展開していきたい。

「国際ビジネス促進協議会」設立について

本所会員の海外進出や貿易取引など支援する国際ビジネス促進協議会（会長：伊藤副会頭）を6月8日に設立する。国内外の国際関係ビジネス機関とのネットワーク化や海外進出企業によるコンサルタントなど、会員企業の個別相談を行っていく。

全国地域検定担当者連絡会の開催について

全国に広がる実施団体との情報交換の場として、本所に全国地域検定担当者連絡会を設置した。6月8日、9日には、各地の実務担当者を京都に招き、「地域検定」の総合的な発展と今後の連携・協力の方策を探っていく。

ロシア・北欧視察団[会頭ミッション]について

7月1日から7月11日まで、11日間の日程で、ロシアと北欧へ私（村田会頭）が団長となり経済ミッションを派遣する。訪問都市は、ロシアのサンク

トペテルブルク、フィンランドのヘルシンキ、デンマークのコペンハーゲン、ノルウェーのベルゲン、スウェーデンのストックホルムの5都市。サンクトペテルブルクでは、7月15日からG8サミットが開催されるが、その直前の訪問なので、警備・施設などの準備状況を現地で視察したいと考えている。また、美しい自然や建造物など古き良きものは残しながら、国際競争力のあるハイテク産業を生んだ北欧都市を視察し、京都の街づくりや景観保全の参考になればと考えている。

以上